

第3学年図画工作科学習指導案

日 時 平成15年8月29日(金) 5校時

児 童 3年1組(男子10名女子13名計23名)

指導者 田 口 佐江子

1 主題名 布という材料の特徴を知り、そのよさを感じながらつくる。

2 題材名 ヌーノ・ワールドへ ようこそ

3 題材について

(1) 本題材のねらい

本題材は、学習指導要領のA表現(2)「見たこと、感じたこと、想像したことを絵や立体に表したり、つくりたいものをつくったりする」内容であり、中学年の目標(1)「豊かな発想や創造的な技能を働かせ、その体験を深めることに関心をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。」ことと(2)「材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくり出す能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。」ことを主なねらいとしている。B鑑賞との関連では、自分たちの作品や表し方などに関心をもって見るようにするとともに、よさや美しさ、おもしろさなどを感じ取り、それらに関する感覚を高めようとすることをねらいとしている。

子どもたちは、五感を働かせて活動することがとても好きである。布は身近な材料であり材質の違いでさまざまな風合いがある。織り方の違い、厚さの違い、伸縮の度合いなど、五感の中でも特に触覚を刺激しながら、楽しく感じるができるよさがある。また、色合いや柄などは、視覚を刺激し、見た時の印象の違いからもつくりたい思いが生まれやすい素材であると考えられる。さらに、布は、丸めたり、ふくらませたり、形のあるものにかぶせたり、つつんでひもなどでしばったりすることによって平面から立体や空間性のある形に変えることができる。その変化のおもしろさから発想が生まれるものと考えられる。形と形を組み合わせた時も、安全ピン、接着剤などを用いて簡単に自分のイメージにあった形につくり変えることができることから、表現活動に広がりが見られるとされる。

(2) 児童の実態

中学年の子どもたちは、表現することや材料などを使って表すことに一層関心をもつようになり、想像力を働かせ、表し方を工夫することに意欲を示すようになる。扱う材料や用具の種類も広がり、自分の表したいことに合わせてそれらを使うことや友だちの発想などにも関心をもつようになる。

学級の子どもたちは、図画工作科が大好きで活発に楽しみながら活動している子どもが多く、つくったり描いたりすることに抵抗感をもたず、自分なりのやり方で思い切って表現する姿が多く見られる。また、お互いの作品への関心も徐々に高まってきており、友だちの表現のよさを感じ、自分の表現に生かそうとする姿勢も見られるようになってきた。しかし、中には、表したいことが見つけられなかったり、思いはあっても自分の表現に自信がもてなかったり、自分の思いにあった表し方が見つけられなかったりして、なかなか表現活動に取り組めないでいる子どもも見られる。

(3) 指導にあたって

本題材では、材料と出会い、見たり、触れたり、操作したりする中で表したいことを見つけ、材料の特性を生かしながら表し方を工夫することを楽しむことができるようにしたい。また、布のもつ手触りや重さ、伸縮などの感じの特性や、形を変えたり、つないだり

できる特性を生かすことを通して、実感を伴った表現活動を展開し、つくりだす喜びや表す楽しさを感じさせたい。そのために、布との出会いを大切にし、布のもつ特性について話し合ったり、試したりすることによって、そのよさやおもしろさを十分に感じることができるようになる。表現の段階では、子ども自身が使ってみたい材料や用具などを選び、表現方法を試したり、やり直したりして取り組めるようにする。このような体験を通して、操作を繰り返しながら表し方を工夫し、個々のイメージを立体作品に表していきたい。また、友だちとの作品交流の場を設け、新たな表現方法に気づくことができるようにする。友だちとかかわることは、構想を変更したり、発想の楽しさを感じたりしながら、自分らしい表現を広げる手段になると思われる。さらに、自分たちの表現方法を確かめ、作品ができあがっていく過程の喜びや表現する楽しさを実感できるようにするために、各段階において自己評価をして活動を振り返る機会を設けるようにする。

本時は、布との出会いの場面である。児童や教師が集めた布の、肌触りのよさ、色や柄の多様さなどの材料としてのよさを感じながら、進んで材料を操作することができるようにしたい。材料の操作を通して、布を用いて表現することの楽しさに気づき、次の表現活動への意欲と構想をもたせたい。そのために、材料を操作する時間をできるだけ保障し、子どもたちが発見した形の変え方のよさをできるだけ拾い紹介していきたい。操作としては、形のあるものにかぶせる、つつむ、しばる、むすぶ、たたむ、まきつける、ねじる等の方法が考えられる。これらの中で子どもたちが思いつかない方法は、教師が作例を示し、必要に応じて紹介することで多様な表現ができるようにしたい。また、材料BOXを用意し、あまった布はだれでも使うことができるようにして材料の個人差をなくし、どの子ども同じように布にふれることができるように配慮する。構想の段階では、形を変えた布が何に見えるかという視点を与えることにより、次の表現活動への意欲を持たせるとともにできあがった形からどのような作品にしていくかという構想をもつことができるようにしていきたい。

4 目標

<関心・意欲・態度>

- ・ 進んで材料を集め、材料に手を加えてつくることを楽しもうとする。

<発想や構想の能力>

- ・ 材料の特徴やできた形から感じたことをもとにして自分のつくりたいものを考えたり、イメージに合った材料と表現方法を選んだりして表すことができる。

<創造的な技能>

- ・ 布の形を変えながら、つくりたいものの感じがあらわれるようにつくつことができる。

<鑑賞の能力>

- ・ お互いの表現からそのおもしろさや表し方の工夫を味わうことができる。

5 準備

- (1) 教師：布類 アルミ線 モール 毛糸 新聞紙 両面テープ 安全ピン 輪ゴム
ホッチキス サインペン アクリル絵の具など
- (2) 児童：布類 各自準備した材料 はさみ 水性絵の具 図工ファイル 筆記用具

6 学習計画（5時間）と評価規準

過程時間	学習内容	A 表現			B 鑑賞	
		関心意欲態度	発想や構想の能力	創造的な技能	関心意欲態度	鑑賞の能力
着想 10分 本時	○ 身近な布を集め集めてきた材料を見合い、さまざまな色や柄、肌触りの布があることに気づく。 ・厚さや色、柄、大きさの違いがあることに気づく。 ・厚いもの、薄くてやわらかいもの、伸び縮みするもの、プリントや色合い等の違いがあることが分かる	進んで材料集めを行い、いろいろな種類の布を集めている。 <観察・材料箱>				材料の形や色の感じ、手触りなどの違いを見つけたり、感じ取ったりする。 <表情・動作・発話>
発想 構想 35分 本時	○ 手の加え方を話し合ったり実際に布を動かして遊んだりしながら立体に表現でき、つくりたい形を発想する。 ・材料の感触を身体全体で味わう。 ・むすぶ、ねじる、たたむ。 ・新聞紙などをつめる。 ・アルミ線やひもでしばる。 ・形のあるものにかぶせる。 ・できた形からどのようにみえるかを話し合い、つくりたいもののイメージをもつ。	積極的に布を操作しようとしている。 <動作・ビデオ>	材料のよさを積極的に見つけながら、つくりたい形を発想して思いを広げている。 <発話・動作・ビデオ・学習カード>	新聞紙やアルミ線、ひもなどを用いて、布の形を変化させている。 <動作・デジカメ>		
表現 135分	○ 発想したことをもとに思いを広げながら、身近材などの生かし方なども考えて表現する。 ・ボタン、モールなどを接着する。 ・絵の具やサインペンで着色する。 ・形と形を組み合わせる。 ・ファスナーを利用する。		つくりながら、新たな発想を楽しみ、つくりたいものの構想を明確にしている。 <発話・動作・学習カード>	発想や構想にもとづいて、形を変えたり、付け加えたりするなどして、表現している。 <動作・デジカメ>		
鑑賞 45分	○ 作品を交流しあい、アイデアや表現のよさを見つけ合い、飾る場所を考える。 ・作品カードに記入する。 ・友だちの作品を見たり、説明を聞いたりしておもしろさやよさを見つめる。 ・自分の作品を飾るのに合った場所を考える。 ・活動を振り返る。				作品を飾る場所を意欲的に考えている。 <表情・発話・動作・発表内容>	どんな作品が生まれたか、お互いに見せ合ってそのよさを鑑賞している。 <発表内容・学習カード>

7 本時の指導

(1) 目標 布を材料にして表現することに関心をもつとともに、形を変える操作を通して自分のつくりたいものの見通しをもつことができる。

(2) 展開 ◎主発問 ○指示 ◇支援 ☆評価

時	学習活動	主発問と指示・予想される反応	支援と評価
キ ヤ ツ チ 10 分	<p>1 学習内容を つかむ</p> <p>2 学習課題を つかむ</p>	<p>○ もってきた材料を友だちと見せ 合しましょう。</p> <p>◎ どんな材料が集まりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～色の布をもってきました。 ・○○さんの布は模様がおもしろ いです。 ・シーツがとても大きいです。 <p>○ いろいろな布が集まったので、 みんなで布で遊びましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわってみよう。 ・Tシャツは伸び縮みするね。 ・透けてやわらかい布もあるね。 <p>◎ この平らな布をいろいろな形に <u>変身させることはできるでしょ うか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる。 ・どうやるのかな。 	<p>◇ 子どもがもってきた布の中から特徴 のある材質を示し、それぞれの布の違 いを感じさせるようにする。</p> <p>☆ 進んでいろいろな種類の布にふれ、 その特性を感じているか。 ＜発言内容・発語＞</p> <p>◇ 遊んだ例や教師の作例から立体に変 化させることができることに気づかせ 学習課題へつなげたい。</p>
<p>ぬのかたちをへんしんさせて、おもしろいかたちをつくらう</p>			
チ ヤ レ ン ジ	<p>3 見通しをも つ</p> <p>4 いろいろな 方法を試しな がら布の形を 変えることを 楽しむ</p>	<p>◎ 形を変えるにはどんな方法があ るでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切る。 ・たたむ。 ・むすぶ。 ・ねじる。 ・新聞紙をつめる。 <p>○ 布の形を変えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はさみ、アルミ線、ひも、新聞 紙などを用いて、それらを使い ながら形を変える。 	<p>◇ 教師の作例を提示しながら、手の加 え方について見通しをもつことができ るようにする。</p> <p>◇ おもしろい形を取り上げ、その工夫 を紹介したり、思いつかない方法につ いては教師が作例を示したりして、多 様な表現に気づくことができるように する。</p> <p>◇ 迷っている子どもには対話を通して 表現への見通しをもつことができるよ う、助言をする。</p> <p>☆ 様々な方法を試しながら進んで形を 変えているか。 ＜動作・ビデオ等による映像＞</p>

30分	5 できた形からつくりたいもののイメージをもつ	◎ できた形が何に見えますか。 ・かいじゅうみたい。 ・虫に見えるよ。 ・ここに付け足しをしたら、うさぎになりそう。	◇ さらに付け加える材料なども考えさせ次の活動へ広げたい。 ◇ 表現の過程をデジタルカメラで撮影しておき、いろいろな表現方法にも気づかせたい。
ゲ ッ ト 5分	6 活動を振り返る	○ 形の変え方を工夫することができたか、次にどんなことがしたいか、今日の活動を振り返ってカードに記入しましょう。 ・どのような活動をしたか。 ・何に見えるか。 ・つげくわえたいもの。	◇ できた形からどんなものをつくりたいか、どんな材料を付け加えたいか記入させ、次時の表現活動への意欲と見通しをもたせる。 ☆ 本時の活動の中でできた形から、つくりたい形を発想しているか。 <カード>

(3) 評価

【関心・意欲・態度】

- ・ 進んでいるいろいろな種類の布に触れたり、積極的に操作したりすることができたか。

【発想や構想の能力】

- ・ 布の色や特性を見つけながら、つくりたい形を発想することができたか。

【創造的な技能】

- ・ 新聞紙やアルミ線、ひもなどを使って、工夫して布の形を変化させることができたか。

【鑑賞の能力】

- ・ 自分や友だちの表現のよさに付くことができたか。

判断基準

A	B	C
○変化のおもしろさを感じて、変化させた形を組み合わせている。 ○材質に着目して、素材にあった方法で形を変えている。 *認め、励ます ①どうやってつくったの？ (操作の方法を確かめる) ②班で見合う。 ③デジカメでとっておく。	○何種類もやり方を試して形を変えている。 ・切る ・おる。 ・むすぶ ・ ・ねじる ・いれる・つめる *認め、励ます ①どうやってつくったの？ (操作の方法を確かめる) ②別な布でも同じように様 に出るかな？ (材質に気づかせる。) ③安全ピンや両面テープを 紹介し、組み合わせるこ とを提案する。 (より複雑な変化に気づか せる) ④材料Boxを見てみるよう 促す。	○やりたい方法が見つからない。 ①板書や班の友だちの様子 を見せ、どの方法を試し てみたいか聞く。 ②補助しながら一緒にやっ てみる。 ③認め励まし、別の方法に もチャレンジできるよう 促す。 ○操作の手順が分からない でとまっている。 ①うまくやっていた子に聞 いてみるよう促す。友だ ちの操作を見せる。